

平成24年度第8回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：平成24年11月12日（月）13時00分～13時30分

場 所：熊本県立大学大会議室

出席：学長	古賀 実
副学長	半藤 英明
事務局長	益田 和弘
文学部長	山田 俊
環境共生学部長	堤 裕昭
総合管理学部長	松尾 隆
地域連携センター長	松添 直隆
学術情報メディアセンター長	三浦 章
環境共生学研究科長	北原 昭男
熊本県立高等学校長会会長	森塚 利徳
熊本日日新聞社新聞博物館長	平野 有益
昭和女子大学大学院特任教授	渡辺 満利子

事務局：田代事務局次長、元島教務入試課長、安達学生支援課長、福永総務課長、阪本企画調整室長、田中学術情報メディアセンター事務長、前田地域連携センター事務長、教務入試課阿蘇品班長

1 開会（進行：田代次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：古賀学長）

（1）審議事項

① 教員の採用について

1）憲法学

事務局総務課長から、資料1-1に基づき、総合管理学部の教員採用について、これまでの審査の経緯等について説明があった。続いて、松尾総合管理学部長から、資料1-2に基づき、経緯の補足及び採用予定者の業績等説明があった。続いて、全学資格審査委員会議長である半藤委員より、「憲法学の採用予定者は、講師での採用が適当であると全学資格審査委員会において判定した。」との報告があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

(2) 報告事項

① 授業料納期 2 期制への移行時期について

事務局総務課から、資料 2 に基づき、「授業料納期の 2 期制への移行について、検討した結果、①カリキュラムとの整合、②公立大学のほとんどが 2 期制を導入、③収納事務手続きの簡素化という必要性があること。また移行の時期については、①授業料収納業務への影響、②新しい業務システムの稼働開始時期との関係、③現在の在学生への影響という理由から、平成 28 年度から全学年一斉に移行したい。今後のスケジュールとして、次回の経営会議及び理事会に報告し、その後規程改定のうえ、学生等へ周知していく。」との報告があった。

② シンポジウム「文学は生きているか？－断崖に立つ文学研究－」の開催について

山田文学部長から、資料 3 に基づき、「大学に文学研究は必要なのか、教育として『文学』を教える意義はあるのか、必要であるとすればそれは何故か、研究者はそれ自身の責任において語れるのか。文学部危機の時代にありながら、長らく誰も問うてこなかったテーマに敢えて切り込み、大学教育の今と文学研究の未来に向けた一石を投じることを目的として、来る 12 月 8 日に本学でシンポジウムを開催する。」との報告があった。

4 その他

次回日程 第 9 回 平成 24 年 12 月 10 日（月）午前 10 時～ 本部棟 2 階大会議室

5 閉会